

2023～	ソーシャルワークリサーチ・研究方法論 (実践研究・実証研究の方法)	単位数	履修方法	配当学年
		2単位	SR	1・2年
		担当教員	大島 巖・狩野 俊介	

■授業のテーマ

受講者自らの実践経験を振り返り、実践の質を高めると共に実践現場からの発信力を向上させるために必要な科学的なソーシャルワーク研究方法論を学び、実践的な研究力と同時に実践力をも身につけます。

■授業の目的

通信制大学院の研究科専攻等の学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づき、実践の質向上に資する実践的で科学的なソーシャルワーク研究方法論の知識と記述、価値観を学び、実践研究力と同時に実践力をも身につけることを目的にします。

■授業の到達目標

- ・実践家が自身の実践を振り返って実践の質を高め、実践現場からの発信を高める実践研究の取組みが、実践活動の一部であることを良く理解する。
- ・受講者自身の実践はもちろん、自職場で取り組む社会サービス（プログラム）、さらには自職場の諸活動をソーシャルワークリサーチの観点から振り返り、それぞれの実践や活動、プログラムの改善やより良い実践の創出に反映することができる。
- ・科学的なソーシャルワーク研究方法論を用いて、自職場での実践を振り返り、情報発信力を高めて、他の同様な課題を抱える実践現場の向上に資する情報発信ができるようになる。

■授業の概要

- ・各地の実践現場において、さらには社会全体において有用な実践と活動、社会プログラムを生み出すことに役立つ、インパクトを与え得る科学的なソーシャルワークリサーチ、研究方法論を身に付けるために、体系的なソーシャルワークリサーチ・実践研究方法論を教授します。
- ・「修士論文研究計画法概論」の授業を引継ぎ、本授業の中では、「概論」で作成した「学位請求論文研究計画書」をさらに随時ブラッシュアップして、より実践に有用で、社会的なインパクトの高い研究計画になるようサポートします（なお科目等履修される方は、ご自身がお持ちになっている研究課題について「研究計画書」を作成の上、ご参加ください）。
- ・「学位請求論文研究計画書」（科目等履修生の場合は「研究計画書」）は、授業期間中、3回にわたって行う同時双方向リモート授業の際に、それまでに行うオンデマンド授業の成果を踏まえて改訂をしていただきます。
- ・オンデマンド授業は、この授業のために独自に講師が作成した授業資料と、動画資料に基づいて行い、各回ともコメント票（ミニレポート）を提出していただきます。

■レポート課題

課題 1 (事前課題)	「修士論文研究計画法概論」で作成した「学位請求論文研究計画書」（科目等履修生の場合は独自に作成した「研究計画書」）の改訂版を提出してください。加えて、①スクーリングの前に行うオンデマンド授業をどのように理解し「研究計画書」の改訂に反映したのか、②オンデマンド授業の内容で「研究計画書」の改訂に苦労したこと、疑問を感じた点などについて、コメントをまとめてください。	【提出期限】 <input type="checkbox"/> 対面（双方向）授業1週間前まで <input type="checkbox"/> 対面（双方向）授業前日まで <input checked="" type="checkbox"/> その他 （1回目対面（双方向）授業1週間前まで）
----------------	---	--

課題 2 (事後課題)	「修士論文研究計画法概論」で作成した「学位請求論文研究計画書」(科目等履修生の場合は独自に作成した「研究計画書」)の事後課題としての最終改訂版を提出してください。加えて、①スクーリングの前に行うオンデマンド授業をどのように理解し「研究計画書」の改訂に反映したのか、②オンデマンド授業の内容で「研究計画書」の改訂に苦労したこと、疑問を感じた点などについて、コメントをまとめてください。また、③この授業で学んだことが、今後の実践活動にどのように反映できそうであるかについてもまとめてください。	【提出期限】 <input type="checkbox"/> 対面(双方向)授業後1ヶ月以内 <input checked="" type="checkbox"/> 受講年度の最終レポート受付日まで <input type="checkbox"/> その他 ()
-----------------------	--	--

■アドバイス



在宅学修15ポイントに関連したオンデマンド教材、およびそれに関わる授業資料をよく参照してください。また、スクーリング時の在宅学修15ポイントに関する解説と質疑応答を踏まえて、次の「学位請求論文研究計画書」の改訂に反映させてください。



在宅学修15ポイントに対応したオンデマンド教材、およびそれに関わる授業資料を十分に参照してください。また、スクーリング時の在宅学修15ポイントに関する解説と質疑応答を踏まえて、「学位請求論文研究計画書」(科目等履修生の場合は独自に作成した「研究計画書」)の事後課題に対応した研究計画書改訂版に反映させてください。

■在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
1	実践現場に役立つ「実践研究」の進め方、まとめ方	実践研究はなぜ必要か、実践に有用な実践研究とは	実践研究はソーシャルワーク(SW)実践のプロセスと類似する。良い実践研究の条件とは。
2	科学的根拠に基づくソーシャルワーク実践とは	エビデンスに基づく実践(EBP)、実践現場での有用性	エビデンスに基づく社会的位置づけの確保、社会サービスの質向上、アカウントビリティ。
3	実践研究の取組みのプロセス	どのように実践研究に取り組むのか、質的研究・量的研究・混合研究方法の適用	どのようなプロセスで実践研究に取り組めば良いのか、質的研究・量的研究・混合研究方法の適用方法。
4	ソーシャルワークリサーチにおける研究倫理	SW実践の介入と研究倫理、文化的背景への配慮	SW研究の一般的なガイドライン、研究のメリットと不利益のバランス、文化的背景への配慮。
5	研究課題の定式化、研究上の問い(RQ)	研究課題定式化の方法、優れたRQの設定方法	プログラムスコープの活用、課題解決方法の創出、RQ整理票の活用。
6	研究課題、RQを定式化する定性的、定量的な把握方法、調査方法	定量的評価に求められる正確な評価測定方法、量的・質的評価の方法	研究課題、RQを定式化に対応して、適切な定性的・定量的な指標、尺度、インタビューガイドを選択する方法を提示します。
7	実践研究に関わる調査の種類と実施方法	自記式調査、面接調査、評価調査などの実施方法	実践研究に関わる質問紙調査、評価調査などさまざまな調査の種類と実施方法を示します。
8	サンプリングの方法	量的研究・質的研究のサンプリング、母集団への代表性・典型性、分析方法との関連	量的研究と質的研究それぞれのサンプリング方法を提示します。それぞれの研究方法・分析方法に対応したサンプリングの選択方法を示します。
9	実践および実践プログラムの評価～実験デザイン・準実験デザイン	ランダム化比較試験、準実験法に求められる適切な対照群の設定方法	科学的な介入研究の評価方法についての理解を深めます。対照群設定方法についての留意点、限界などについて検討します。
10	実践および実践プログラムの評価～シングルシステムデザイン	実践現場で取組みが容易な方法としてのシングルシステムデザインの理解を深める	実践現場で取組みが容易な方法としてのシングルシステムデザインの種類・方法・実施上の留意点についてまとめます。
11	実践および実践プログラムの評価～その他のプログラム評価	形成的評価、総括的評価、実践現場で取り込まれるその他のプログラム評価の方法	効果的な実践を設計・開発し、そのモデルを形成・改善し、科学的根拠(エビデンス)を生成する方法を提示します。またモデルを実施・普及するための方法についても提示します。

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
12	質的実践研究の種類と配慮点	事例研究、ライフヒストリー研究、フォーカスグループ、参加型研究、グラウンディドセオリーアプローチ、TEM、など	実践研究で用いられるさまざまな質的研究の種類と配慮点を示します。
13	質的データの分析	質的データの切片化とコーディング、テキストマイニングなど	質的データ分析の方法論の概要を示します。
14	その他の量的実践研究の種類と、分析方法、配慮点	実践記録の活用と分析、二次データの活用と分析、ビッグデータの活用と分析	その他の量的実践研究の種類と配慮点をいくつかのアプローチごとに示します。
15	ソーシャルワークリサーチ・研究方法論のまとめと、各自の研究計画への反映	研究方法論の知識・技術・価値観の向上に伴う、RQの深化、研究計画の発展	これまで学んだソーシャルワークリサーチ・研究方法論のまとめを行い、各自のRQの深化と、研究計画の発展を確認します。

■スクーリング事前課題（学修時間目安：40時間以上）

3回行うリモートでのスクーリング第1回目の1週間前（6/30）までに、「修士論文研究計画法概論」で作成した「学位請求論文研究計画書」（科目等履修生の場合は独自に作成した「研究計画書」）の改訂版を提出してください。加えて、①スクーリングの前に視聴するオンデマンド動画をどのように理解し「研究計画書」の改訂に反映したのか、②オンデマンド授業の内容で「研究計画書」の改訂に苦勞したこと、疑問を感じた点などについて、A4用紙2枚程度にまとめてください。

■スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	在宅学修15ポイントの1-2の動画配信とコメント票でのフィードバック	オンデマンド
2	在宅学修15ポイントの3-4の動画配信とコメント票でのフィードバック	オンデマンド
3	在宅学修15ポイントの1-4に関する解説と質疑応答	リモート授業 (相談の上7/7に1コマ開講)
4	在宅学修15ポイントの5-8の動画配信とコメント票でのフィードバック	オンデマンド
5	在宅学修15ポイントの9-10の動画配信とコメント票でのフィードバック	オンデマンド
6	在宅学修15ポイントの11の動画配信とコメント票でのフィードバック	オンデマンド
7	在宅学修15ポイントの5-11に関する解説と質疑応答	リモート授業 (相談の上8/11に1コマ開講)
8	在宅学修15ポイントの12-13の動画配信とコメント票でのフィードバック	オンデマンド
9	在宅学修15ポイントの14-15の動画配信とコメント票でのフィードバック	オンデマンド
10	在宅学修15ポイントの12-15に関する解説と質疑応答	リモート授業 (相談の上8/31に1コマ開講)

■スクーリング事後課題（学修時間目安：30時間）

「修士論文研究計画法概論」で作成した「学位請求論文研究計画書」（科目等履修生の場合は独自に作成した「研究計画書」）の最終版の改訂版を提出してください。加えて、①スクーリングの前に行うオンデマンド授業をどのように理解し「研究計画書」の改訂に反映したのか、②オンデマンド授業の内容で「研究計画書」の改訂に苦勞したこと、疑問を感じた点などについて、コメントをまとめてください。また、③この授業で学んだことが、今後の実践活動にどのように反映できそうであるかについてもまとめてください。①～③については、A4用紙2～3枚程度にまとめて提出をお願いします。

■評価の方法・基準

- ・スクーリング40%、課題レポート60%

■参考文献（*印=大学から送付される必読図書）

- * 1) 在宅学修15ポイントに関連したオンデマンド教材、およびそれに関わる授業資料
- 2) 平山尚ほか『ソーシャルワーカーのための社会福祉調査法』ミネルヴァ書房、2003
- 3) Rubin A & Babbie ER: Essential Research Methods for Social Work (Empowerment). Brooks/Cole Pub Co; 第4版, 2015
- 4) 福原俊一『リサーチ・クエスチョンの作り方』NPO 法人健康医療評価研究機構、2008
- 5) 松村真司、福原俊一『概念モデルをつくる』NPO 法人健康医療評価研究機構、2008
- 6) 古谷野亘、長田久雄『実証研究の手引き』ワールドプランニング、1992